

信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部にて
入院リハビリテーションを受けられた患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2022年12月14日

「脳腫瘍患者に対する Occupation-Based Intervention の長期効果について」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。

この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5715
研究課題名	脳腫瘍患者に対する Occupation-Based Intervention の長期効果について
所属(診療科等)	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部
研究責任者(職名)	伊藤駿(作業療法士)
研究実施期間	医学部長による許可日～2025年1月31日
研究の意義、目的	本研究は、脳腫瘍患者様の術後リハビリテーションにおいて、患者様本人が大切にしている活動を取り入れることが、生活の質(Quality Of Life : QOL)の向上に与える影響を検証することを目的としています。本研究の成果により、脳腫瘍患者様に対する術後リハビリテーションの質を向上させることが期待できます。
対象となる方	2020年1月1日～2021年3月31日までに通常の作業療法が実施された方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、リハビリテーション評価など
研究方法	2020年1月1日から2021年3月31日の間に当院で脳腫瘍の摘出手術後にリハビリテーション介入を行った方の診療記録から上記のデータを収集・解析し、2021年4月1日以降に当院で脳腫瘍手術後にリハビリテーションが行われる患者様のデータと比較検討を行います。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	信州大学医学部附属病院リハビリテーション部/リハビリテーション科 堀内博志(科長)、井戸芳和(療法士長)、伊藤駿(作業療法士) 電話:0263-37-2836 FAX:0263-37-2835

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。